



市長インタビュー

「緑豊かな恵まれた環境を引き継ぐために」地域からの温暖化対策

●温暖化対策では、何が大切なのでしょう。
 齋藤市長 地球温暖化の背景には、石油などの化石燃料に頼った、私たちの便利な生活があります。一人ひとりが省エネや生ごみの減量などに取り組むことは、石油などの化石燃料の使用を減らすことができるとも有効なことです。そのためには、子どもから大人まで環境の現状を知り、自分に何が出来るかを考え、行動することが必要であると考えています。地球温暖化は差し迫った課題であり、二酸化炭素削減に向けて、本市も積極的に温暖化対策に取り組んでいます。

●市では、どのような対策をすすめているのですか。
 市長 本市では、地域での講習会などの開催や、幼いときからの環境学習に力を入れる必要があることから、幼児向けの紙芝居や小・中学校での出前講座などを行っています。また、移動手段としてマイカーに頼りがちな生活スタイルを見直すことを提案し、電車やバスなどの公共交通機関を利用するなど、環境に配慮した移動のしかたをすすめています。さらに、ごみを減らすために、モデル地域で学校給食の生ごみを堆肥化・資源化するなどの取り組みもしています。このような温暖化対策の取り組みは、所沢の緑豊かな恵まれた環境を将来世代に引き継ぐため、市の基本構想に掲げる「物から心・夢・緑へ」という視点を生かした、まちづくりの実践につながっています。今、私たちが行動していくことは、安心して生活できる地球環境を維持し、子どもたちの未来のためにとても大切なことです。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

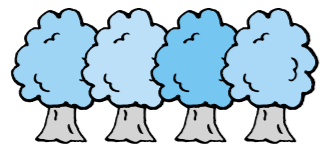
ハチドリのひとしずく (南アメリカに伝わるお話)

森が火事になり、生きものたちがわれ先に逃げていく中、小さなハチドリだけは行ったり来たりしながらくちばしで何度も火に水のしずくををかけている。まわりの生きものが「そんなことをしてなんになるんだ」と笑うが、ハチドリはこうつぶやく。「私は、私にできることをしているだけ」。



温暖化対策で大切なことは、「自分だけがやっても」とあきらめないことです。一人ひとりが、できることを実践すれば、今ならまだ間に合います。

一人ひとりの温暖化対策への意識と行動が二酸化炭素の排出を減らします。市では、自然を大切に、環境への負荷の少ない持続的発展可能なまちをめざして、今後市民・事業者の皆さんと積極的に温暖化対策に取り組めます。



ストップ! 温暖化! みんなで減らそうCO₂

二酸化炭素

★今日から始めよう! 我が家の温暖化対策★

～具体的な取り組みの参考例～

- 近くに行くときは、歩きや自転車、公共交通機関をおおう!**
エコドライブやアイドリングストップをしよう!
- 使っていない電気製品はコンセントをこまめに抜こう!**
テレビはリモコンでなく主電源から切ろう!
- 冷房の設定温度は28℃、暖房時の室温は20℃にしよう!**
- 水道の蛇口はこまめに閉めよう!**
お風呂の残り湯は、洗濯などに活用しよう!
- 自分の買い物袋(マイバック)を持参しよう!**
リサイクル商品・包装の少ないものなどを選んで買おう!

みんなで止めよう温暖化
 チーム・マイナス6%
 所沢市はチーム・マイナス6%に参加しています

チームマイナス6%とは…… 環境省地球環境局地球温暖化対策課国民生活対策室が運営する地球温暖化防止のための国民的プロジェクトです。詳細は、次のホームページ (<http://www.team-6.jp/>) でご覧になれます。

- 省エネエネルギー
 - ①エコ・モビリティ (環境に配慮した移動のしかた)
 - 省エネ型の運転(エコドライブ)やエコカー (電気自動車など) の利用
 - 過度のマイカー利用を控えて、歩いたり自転車に乗ったりバスを利用
 - ②市民・事業者・市の省エネルギーの取り組み
 - 電気・ガス等の消費量を把握し省エネに取り組む
 - 太陽光発電等の活用
- 生ごみの減量と資源化
 - 料理などの作りすぎに気をつけて、生ごみの発生を減らす
 - 新聞紙や通気性のあるかごの利用により生ごみの水分を減らす
- 市街地の緑化と雑木林の保全
 - 自宅の庭などの緑化
 - 雑木林の保全管理への参加

省エネデーの結果と植樹
 昨年12月に環境のことを考えて生活する『冬の省エネデー』を一斉に行いました。小学4年生から6年生までの子どもたちや、環境学習出前講座を受講した中学生、学校の教職員、自治会、環境推進員、市民大学受講生、公民館利用者とそのご家族の皆さんなど、多くの市民の皆さんに参加いただきました。ありがとうございました。

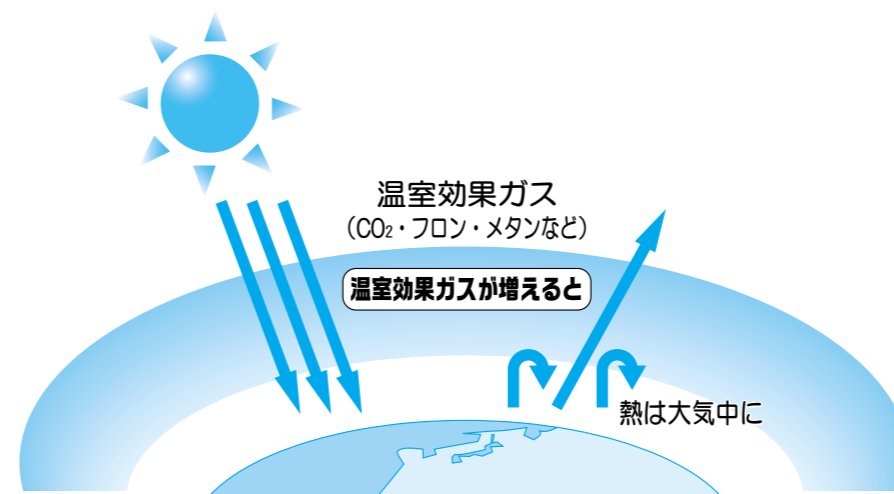
■冬の省エネデーの効果

- 参加した人数 117,370人
- 1日で減らせた二酸化炭素の量 14,980キログラム
- 杉1本が1年間に吸収する二酸化炭素の量(平均約14kg)に換算すると、杉の木1,070本分になります。

(参考:地球温暖化防止のための緑の吸収源対策)

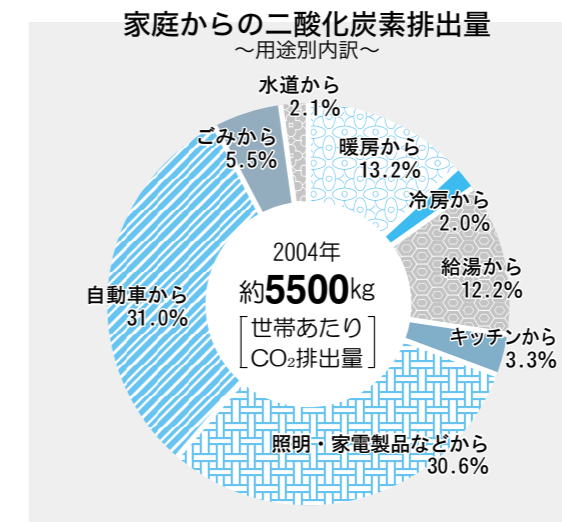
【地球温暖化とは・・・】

私たちの毎日の暮らしを支えている、石油・電気・ガスなどの過度な使用により、二酸化炭素などの温室効果ガス濃度が高くなると、太陽からの光による熱が宇宙へ出ていなくなり、平均気温が上がってしまうことです。



◎地球温暖化に関する情報は「全国地球温暖化防止活動推進センター」のホームページでもご覧になれます。(ホームページアドレス: <http://www.jccca.org/>)

このまま温暖化がすすむと……
 ■地球の気候の変動
 ほとんどの亜熱帯地域で降水量が減少し、陸地では極端な高温・熱波・大雨・強い熱帯低気圧が増えます。
 【日本が食糧難に……】
 食糧の生産に適した気候が変化し、産地が変わります。病害虫の発生も増え、農産物への影響が予測されるとともに、漁獲量の減少なども心配されます。日本は、食糧の約60%を海外から輸入しており、食糧確保にも影響を受けます。



出典: 温室効果ガスインベントリオフィス (2006.8.30発表) [日本の1990～2004年度の温室効果ガス排出量データ]より

キッズISO に取り組んで



岡崎 公佑さん (宮本町在住)

最初は、家庭の省エネは面倒でしたが、取り組むにつれてわが家のムダが見え、やってよかったと思います。今も家族で節電をしたりお風呂の水を花にあげたりしています。友だちと活動している「こどもエコクラブ」では、自然観察や地域のポイ捨てを減らす活動の中で、たくさんの発見があり、とても役に立ちました。

地球の未来のために、今の大人の皆さんと一緒に、温暖化が進まないように、頑張りたいと思います。



城野 律子さん (神米金在住)

市の環境講座で、省エネでCO₂を減らせることを知り「もったいない」の精神で、いつも車で行く所をバイクや自転車にしました。車で行かなければ駐車場の心配もありません。環境に良いことは、安全で、便利で、お財布にもお得なことが多くあります。地域で洋服の無料交換会「もってけ市」をすると、洋服もあまり買わずに済むようになりました。

温暖化の問題は先送りできません。身近な行動で防止できることを、多くの方に知ってほしいと思います。

子どもたちの未来を守るため、今こそ行動を!

温暖化防止の鍵は、私たちが自身が握っています